

一人一人が輝く、新たな一步

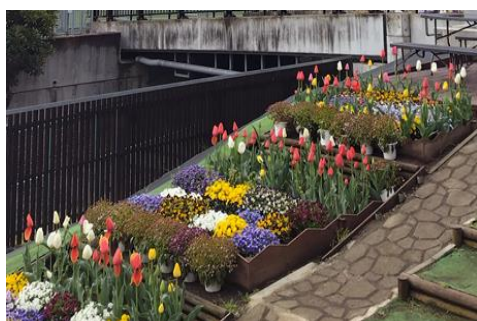
副校長 上野 哲

新緑のまぶしさに初夏の気配を感じる季節となりました。風にそよぐ若葉がいきいきと揺れる中、本校では令和7年度が本格的に動き始めています。小学部32名、中学部28名、高等部26名（計86名）の新入生を迎え、在校生とともに新たな学年のスタートを切った子どもたちは、少しずつ新しい環境に慣れ、笑顔や自信を見せ始めています。

さて、本校では今年度、学校経営の柱として「児童・生徒一人一人に応じたリーダーシップの育成」と「児童・生徒、教職員、学校関係者すべての方のウェルビーイングの向上」を掲げています。リーダーシップとは、前に立つことだけではなく、自分の思いを表現し、誰かと協力しながら役割を果たそうとする力でもあります。行事や係活動、学習の場面などを通して、児童・生徒一人一人が「自分らしいリーダーシップ」を発揮できるよう、丁寧に育んでまいります。

また、学校に関わるすべての人が心身ともに健やかに、安心して学び、働き、関わるができること。それが私たちの考える「ウェルビーイングの向上」です。教室での安心できる人間関係づくり、適切な支援環境の整備、保護者、福祉園関係者や地域との信頼関係など、あらゆる場面で「誰もが大切にされている」と実感できる学校づくりを進めてまいります。

本校の教育は、福祉・医療・就労支援などの地域の関係機関や保護者・福祉園職員の皆さまとの連携の中で進められています。今年度も、将来の社会生活を見据えたキャリア教育の充実や、地域関係機関との協働、地域社会とのつながりを通じて、子どもたちが自分らしく社会とつながる力を育んでいきます。日々の積み重ねが、子どもたちの「できた!」という喜びや、自信、そして次への意欲につながっていくよう、私たち教職員も心を込めて寄り添ってまいります。保護者・福祉園職員の皆さま、地域の皆さまには、今後とも温かい御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



高等部の生徒が大切に育てた花が生き生きと咲き誇り、来校する方を温かく迎えてくれています。

《令和7年度スクールカウンセラーモデル事業の実施について》

本事業のモデル校として、宮川千春（みやかわちはる）スクールカウンセラーが配置されました。本事業の実施にあたり、スクールカウンセラーによる児童・生徒全員面接を実施します（先行実施対象として、小5、中1、高1）。これは①児童・生徒とスクールカウンセラーのつながりを作ること②児童・生徒の「相談すること」への抵抗感を少なくすること③生徒を理解して実態を把握することを目的としています。また、年に3回実施している「いじめアンケート」での聞き取りの結果や、児童・生徒本人または保護者、担任からの申し出などに応じて、個別相談を実施させていただくことがあります。このことにより、不登校やいじめ等の未然防止・早期発見・早期対応など組織的な対応を実施していきます。もし、相談の実施について希望されないことがある場合には、担任まで御連絡ください。

これまで本校で実施している療育相談や進路相談などの相談に合わせ、スクールカウンセラー相談として、相談内容に応じてより適切な対応ができるようにしていきます。